

令和6年度 教科研修会Ⅱに向けた授業の構想

社会科

1 社会科の研究テーマ

思考・判断したことを説明したり、
それらを基に議論したりする力を高める学習の在り方

2 社会科として育成を目指す資質・能力の受け止め (研究テーマに示す力が高まっている生徒の具体の姿)

- ・世界の様々な地域の特色について多面的・多角的に考察したことを基に、世界各地で開店するラーメン店の内容を、そこに住む人々に受け入れられるものとなるように議論している姿 (1学年、「地理的分野 世界各地の人々の生活と環境」)
- ・地域的な課題の解決に向けて、考察、構想したことを適切に説明し、自らの考えを基に議論している姿 (2学年、「地理的分野 地域の在り方」)
- ・歴史に関わる事象についての意味や意義について、自分の考えを論理的に説明する姿や、他者の主張を踏まえたり取り入れたりして、歴史に関わる事象についての自分の考えを再構築し議論する姿 (全学年、「歴史的分野」)
- ・資料から情報を収集し、必要な情報を選択し、それをを用いて考えたことや導き出した結論を、具体的、論理的に説明する姿 (3学年、「公民的分野」)

3 単元名・学年 「織田・豊臣による統一事業」・2年

4 単元の概要 (全6時間扱い 本時は第5時)

単元の学習問題

織田信長と豊臣秀吉は、どちらの方が高く評価できるのだろうか。

単元展開

時間	学習活動
第1時	<p>◆導入資料から、単元の学習の見通しをもつ</p> <p>【単元の学習問題】 織田信長と豊臣秀吉は、どちらの方が高く評価できるのだろうか。</p> <p>・チャートの項目を教師と共に決め出し、予想を基に単元の学習課題を据える</p> <p>【単元の学習課題】 2人が行ったことを要因や影響、社会の変化に着目して調べ、レーダーチャートの武力・知力・外交・革新性について数値を決め、その根拠を説明しよう。</p>
第2時 ～ 第4時	<p>◆織田信長と豊臣秀吉が行ったことを要因や影響、社会の変化に着目して調べ、ワークシートにまとめる</p> <p>◆ワークシートの記述を基に、レーダーチャートの武力・知力・外交・革新性について数値を決め、その根拠を考える</p>
第5時 (本時)	<p>◆これまでの学習を基に、織田信長と豊臣秀吉は、どちらの方が高く評価できるのかについて、レーダーチャートを用いて友と議論する</p> <p>【単元の学習問題】 織田信長と豊臣秀吉は、どちらの方が高く評価できるのだろうか。</p> <p>【学習課題】 これまでの学習を基に、友のチャートと比較しながら議論しよう。</p>
第6時	<p>◆単元の学習を振り返り、単元の学習問題への自分の考えをまとめる</p>

社会科学習指導案

令和6年7月3日(水) 5校時 1年A組教室

授業学級 2年C組(39名)

授業者 内藤 大貴

1 単元名 「織田・豊臣による統一事業」

2 主眼

※【 】内は、中学校学習指導要領との関連を指している

織田信長と豊臣秀吉は、どちらの方が高く評価できるのかについて考察する場面で、これまでの学習を基に、友のチャートと比較しながら議論することを通して、織田信長と豊臣秀吉が日本の社会に与えた影響について、より多面的・多角的に考察し、新たに気付いた根拠を基にして単元の学習問題に対する自分の考えを捉え直すことができる。

【B(3)イ(ア)】

3 単元の学習問題： 織田信長と豊臣秀吉は、どちらの方が高く評価できるのだろうか。

4 本時の位置(全6時間中 第5時)

前時：ワークシートの記述を基に、レーダーチャートの数値を決め、その根拠を個人で考えた。

次時：単元の学習を振り返り、単元の学習問題への自分の考えをまとめる。

5 展開

段階	活動	予想される生徒の反応	教師の指導・助言 評価	時間
導 入	1 単元の学習問題を 確認し、学習課題 を据える。	単元の学習問題：織田信長と豊臣秀吉は、どちらの方が高く評価できるのだろうか。		6分
		ア 前時の最後に友のチャートを見たときに、結果が人によって違っていたから、今日はこれまでの学習を基に、友のチャートと比較しながら議論したい。	・単元の学習問題を 確認し、アのような前時の振り返りを取り上げ、学習課題を据える。	
		学習課題：これまでの学習を基に、友のチャートと比較しながら議論しよう。		
展 開	2 同じ立場の友と 考えを共有する。	イ 信長は、敵対した大名や仏教勢力を武力で従わせた。また、足利義昭を援助して京都に上った。これらにより中世の歴史を変えたので、武力面と知力面で高く評価できる。	・自分の考えをより明確にするためにはどうしたらよいか 問い掛け、同じ立場の友と話し合う場を設ける。	7分
		ウ Mさんは、信長が堺の町を海と堀で囲んだことで、町人が暮らしやすい安全な町になったと言っていた。乱世の中で高く評価できる。革新性の数値の根拠に追加しよう。	・ウのような反応を取り上げ、 考えを説明する際には、チャートの数値だけでなく、考えた根拠も伝えるように促す。	
	3 グループで議論する。	エ Kさんは、秀吉が刀狩で一揆を防ごうとしたことや、太閤検地で全国の土地を武士の支配下にしたことは、大名や武士にとってよい政策だと言っていた。このような政策で、これから先の時代が武士中心になったことは、たしかに高く評価できる。	・グループの全員が同じ方を高く評価している場合は、グループのメンバーを代える。	23分
		オ Tさんは、秀吉の朝鮮侵略は、これまでの時代にはない日本の外国侵略という点で、革新性が高い数値になると言っていた。たしかにそうだ。判断に迷う。	・机間指導をし、それぞれが選んだ人物や考えの根拠を確認して、指名計画を立てる。 ・オのように判断に迷っている生徒の反応を全体に広め、それぞれの立場の意見を全体で共有する場を設ける。	
	4 全体で共有する。	カ Wさんは、応仁の乱後は各地で一向一揆が起きる不安定な世の中だったことや、後の江戸時代が長く安定した時代だったことを踏まえて、仏教勢力や大名からしたら苦しかったが、信長が行ったことは日本の安定につながり、高く評価できると言っていた。そのことも根拠になると思う。	・多面的・多角的に根拠を書いているそれぞれの立場の生徒の意見を取り上げ、全体で共有する。 ・共有した意見の中で、新たな根拠となることについて、構造的に板書をする。	7分
終 末	5 本時の学習を振り返り、まとめる。	キ 信長は不安定な中世の世を変え、その後の安定した日本につながることを行い、秀吉は近世の社会の仕組みにつながることを行ったことも評価の根拠になると分かった。また、秀吉が行った刀狩や太閤検地は、武士にとってはよかったが、農民にとっては反乱することができなくなり、苦しかったのではないかと。今日気付いた根拠を基にしながら、考えをまとめていきたい。	・本時の学習を振り返り、分かったことや新たに気付いたことを記述するように促す。 様々な立場から事象を考え、友と議論することで気付いた信長と秀吉の側面を新たな根拠にして、単元の学習問題に対する自分の考えを捉え直している様子を、ワークシートの記述から読み取る。	7分